

吹き矢用投薬器セット

【形状・構造等】

本品は、ブローパイプ(吹き筒)、吹き矢用投薬器、吹き矢用注射針、ニードルシール、バンディングピン、安全キャップ、コネクター付加圧ポンプの7点から構成される。

ブローパイプは2種類(1.5m、2m(接続式))、吹き矢用投薬器は4種類(1mL、2mL、3mL、5mL)、吹き矢用注射針は4種類(小動物用、犬用、鹿用、牛用)ある。

【性能、効能又は効果】

1. ブローパイプ

4～5mの距離から一吹きすることにより、薬剤を含む投薬器を動物に命中させる。

動物に近づかず、緊張感を与えることなしに投薬できる。

2. 吹き矢用投薬器

投薬器が動物に命中したときの衝撃で動物に投薬を行う。

3. 吹き矢用注射針

動物に刺さりやすく抜け落ちにくく、動物体内に速やかに薬剤を注入する。

適用動物別に注射針の種類を変えることにより、動物に与えるダメージを少なく確実に投薬できる。

4. ニードルシール

注射針の先端部にある開口部をシールすることで、注入した薬剤が漏れないように保持できる。対象動物に命中するとシールがずれ、投薬できる。

【使用方法】

1. 投薬しようとする薬剤を一般の注射器に必要量をとる。

2. 吹き矢用投薬器のリアラバーピストンをバンディングピンで筒中央のくびれに固定する。

3. 薬剤の入った注射器のピストンを押し薬剤を投薬器に入れる。(この時、フロントラバーピストンは筒中央のくびれまで移動する。)

4. 投薬器に薬剤が入ったら吹き矢用注射針をつけ、さらに注射針の針穴をふさぐようにニードルシールを被せる。

5. 注射針で怪我をしないように安全キャップを被せる。

6. コネクター付加圧ポンプで投薬器内に空気を送り込む。(筒中央のくびれにあったリアラバーピストンは筒内に圧力がかかると投薬器の端へ移動する。)

7. リアラバーピストンが固定されたことを確認し、スタビライザーをつける。

8. セットが完了したら、吹き矢用投薬器の安全キャップをはずし、ブローパイプの吹き口から全体がちょうど隠れるように入れる。

9. ブローパイプの吹き口側を持って対象動物に向かって一吹きする。

【使用上の注意】

1. 充填する医薬品

医薬品を充填する場合はその医薬品の添付文書等の指示に従って下さい。

2. 使用する前の練習

精製水を使用して何回も練習して、取扱い方法を熟知し操作方法を完全に習熟して下さい。

3. 操作上の注意

- ・薬室内に小さな気泡が見られても動物に害はありません。
- ・投薬器に注射針を装着させる時は注射針を投薬器にしっかりとねじ込む。
- ・注射針で怪我をしないように、注射針の穴をニードルシールで被ったら直ちに安全キャップで被る。
- ・スタビライザーは投薬器にしっかりとねじ込む。

4. 保管上の注意

- ・注射針、投薬器、シールの再使用はできません。
- ・ブローパイプ、投薬器、注射針等の器具一式は直射日光を避けて保管して下さい。

【製造販売元】

イワキ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-8-2

<https://www.iwaki-kk.co.jp>